

外国語活動指導計画



教師・保護者の願い

子供の実態
地域の実態

学校教育目標
 ◎自ら考えよく学ぶ子ども
 ◎思いやりのある心豊かな子ども
 ◎命を尊び心身ともに健康な子ども
 ◎ふるさとを愛する素直な子ども

◎社会の状況
◎社会の要請

関係法規 等

◎日本国憲法 ◎教育基本法
◎学校教育法 ◎学習指導要領

校内研究主題
 自ら考えよく学び 生き生きと活動する児童の育成
 —外国語活動の実践を通して—

外国語活動の目標
 ◎外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。

基本的な考え方
 ◎学級担任が中心になって活動を。 → 子どもと一緒に学ぶ姿勢を示す。
 ◎「聞く・話す」を基本に。 → 音声言語を中心としたコミュニケーションを目指す。
 ◎体験的で楽しい活動を。 → 歌やゲームなどを取り入れる。
 ◎コミュニケーションのある活動を。 → 子ども対教師あるいは子ども同士のコミュニケーションを行う。
 ◎簡単な指示や誉め言葉は英語で。 → “Classroom English” を積極的に用いる。
 ◎ネイティブスピーカーの発音を。 → ALTやCD・DVD・ビデオなどを積極的に使う。
 ◎視覚教材を補助的・効果的に。 → 絵・絵本・写真などを提示する。

求める児童像
 ◎積極的にコミュニケーションをとろうとする子ども
 (外国語を聞こうとする・話そうとする)
 ○目を見て ○大きな声で ○動作で

第5学年	第6学年
児童に身近で基本的な表現を使いながら、友達とのかかわりを大切にした体験的なコミュニケーション活動を行う子ども。	友達とのかかわりを大切にしながら、国際理解に関わる交流等を含んだ体験的なコミュニケーション活動を行う子ども。

各教科との関連	「外国語活動」の学習活動	評価の観点	関連指導計画	学習環境																
<table border="1"> <tr><td>国語</td><td>「話すこと・聞くこと」領域の活用。日本と外国の文学作品</td></tr> <tr><td>社会</td><td>文化・産業・歴史・国土</td></tr> <tr><td>算数</td><td>単位・図形</td></tr> <tr><td>理科</td><td>気象</td></tr> <tr><td>音楽</td><td>歌 伝統音楽・楽器</td></tr> <tr><td>図工</td><td>色 ものづくり 民芸品</td></tr> <tr><td>家庭</td><td>家庭生活・食事</td></tr> <tr><td>体育</td><td>表現・ゲーム・スポーツ</td></tr> </table>	国語	「話すこと・聞くこと」領域の活用。日本と外国の文学作品	社会	文化・産業・歴史・国土	算数	単位・図形	理科	気象	音楽	歌 伝統音楽・楽器	図工	色 ものづくり 民芸品	家庭	家庭生活・食事	体育	表現・ゲーム・スポーツ	<p>1. 「外国語活動」の課題設定 ①児童の興味関心に基づく内容であること。 ②国語・音楽・図工など他教科で児童が学習した内容を活用すること。</p> <p>2. 「外国語活動」の学習形態 外国語やジェスチャーを用いたコミュニケーションを取り入れながら、日本と外国の文化について体験的に理解を深めるようにする。</p> <p>3. 「外国語活動」の指導形態 学級担任の教師または外国語活動を担当する教師が中心となって指導計画の作成及び授業を実施する。その際には、ALTや外国語に堪能な地域の人々の協力を得るなど指導体制を工夫する。</p> <p>4. 「外国語活動」の配慮事項 ①音声を取り扱う場合には、CD・DVDなどの視聴覚教材を積極的に活用すること。その際には、児童・学校・地域の実態を考慮した教材を選択するように配慮する。 ②道徳の時間との関連を考慮しながら、国際理解等の道徳の内容について外国語活動の特質に応じた指導をする。</p>	<p>①関心・意欲・態度 (楽しく進んでコミュニケーションしようとしているか。)</p> <p>②理解・表現 (内容を理解し反応しようとしているか。または、自分の気持ちや考えを言葉や動作で表現しようとしているか。)</p> <p>③異文化理解 (外国の人や言葉、文化にふれ興味をもったか。また、日本との違いやよさに気付いたか。)</p>	<p>国際理解教育指導計画 道徳教育指導計画 総合的な学習指導計画</p>	<p>＜校内＞ Englishroom・図書室・コンピュータ室</p> <p>＜校外＞ ○遠足・自然教室・修学旅行等校外学習の場 ○地域(キープ協会等)や中学校との連携及び協力</p>
国語	「話すこと・聞くこと」領域の活用。日本と外国の文学作品																			
社会	文化・産業・歴史・国土																			
算数	単位・図形																			
理科	気象																			
音楽	歌 伝統音楽・楽器																			
図工	色 ものづくり 民芸品																			
家庭	家庭生活・食事																			
体育	表現・ゲーム・スポーツ																			

国際理解教育（英語活動）全体計画

